

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 1 月 17 日(2025.1.17)

【公開番号】 特開 2024-133162(P2024-133162A)
【公開日】 令和 6 年 10 月 1 日(2024.10.1)
【年通号数】 公開公報(特許)2024-183
【出願番号】 特願 2024-110917(P2024-110917)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 1 月 8 日(2025.1.8)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技球が入球可能な第 1 の入球手段と、
遊技球が前記第 1 の入球手段に入球したことに基づいて第 1 の所定情報を取得する第 1
所定情報取得手段と、
前記第 1 の所定情報が第 1 の条件を満たすか否かを判定する第 1 判定手段と、
遊技球が入球可能な第 2 の入球手段と、
遊技球が前記第 2 の入球手段に入球することが不可能又は困難な入球不可状態と、遊技
球が前記第 2 の入球手段に入球することが可能又は容易な入球可能状態との間で遷移可能
な第 1 状態遷移手段と、
前記第 1 の所定情報が前記第 1 の条件を満たすと判定された場合に、前記第 1 状態遷移
手段を前記入球不可状態と前記入球可能状態との間で遷移させる第 1 遷移モードを実行す
る第 1 遷移モード実行手段と、
遊技球が前記第 2 の入球手段に入球したことを含む所定の特典付与条件が成立した場合
に、遊技者に特典を付与する特典付与モードを実行する特典付与モード実行手段と、
を備える遊技機であって、
前記特典付与モード実行手段は、少なくとも遊技者にとっての利益が最も高い特定特典
付与モードを含む、遊技者にとっての利益の異なる複数種類の前記特典付与モードを実行
し得るよう構成され、
本遊技機は、前記第 1 遷移モードが開始されてから終了するまでの間に、前記所定の特
典付与条件が複数回成立することによって、前記特定特典付与モードを前記複数回実行し
得るよう構成され、
前記第 1 遷移モード実行手段は、
前記第 1 遷移モードにおいて前記第 1 状態遷移手段が最後に前記入球可能状態から前記
入球不可状態に遷移してから、前記第 1 判定手段による次の判定を実行可能とするまでの
期間である待機期間の長さを、
前記第 1 状態遷移手段が前記入球可能状態から前記入球不可状態に遷移してから、前記
入球不可状態から前記入球可能状態に遷移するまでの期間であるインターバル期間の長さ
以上の長さに設定し得るよう構成された
ことを特徴とする遊技機。

30

40

50

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

〔形態〕（本形態は、主に、下記の第１３実施形態及びその変形例に基づく）

遊技球が入球可能な第１の入球手段と、

遊技球が前記第１の入球手段に入球したことに基づいて第１の所定情報を取得する第１所定情報取得手段と、

10

前記第１の所定情報が第１の条件を満たすか否かを判定する第１判定手段と、

遊技球が入球可能な第２の入球手段と、

遊技球が前記第２の入球手段に入球することが不可能又は困難な入球不可状態と、遊技球が前記第２の入球手段に入球することが可能又は容易な入球可能状態との間で遷移可能な第１状態遷移手段と、

前記第１の所定情報が前記第１の条件を満たすと判定された場合に、前記第１状態遷移手段を前記入球不可状態と前記入球可能状態との間で遷移させる第１遷移モードを実行する第１遷移モード実行手段と、

遊技球が前記第２の入球手段に入球したことを含む所定の特典付与条件が成立した場合に、遊技者に特典を付与する特典付与モードを実行する特典付与モード実行手段と、

20

を備える遊技機であって、

前記特典付与モード実行手段は、少なくとも遊技者にとっての利益が最も高い特定特典付与モードを含む、遊技者にとっての利益の異なる複数種類の前記特典付与モードを実行し得るよう構成され、

本遊技機は、前記第１遷移モードが開始されてから終了するまでの間に、前記所定の特典付与条件が複数回成立することによって、前記特定特典付与モードを前記複数回実行し得るよう構成され、

前記第１遷移モード実行手段は、

前記第１遷移モードにおいて前記第１状態遷移手段が最後に前記入球可能状態から前記入球不可状態に遷移してから、前記第１判定手段による次の判定を実行可能とするまでの期間である待機期間の長さを、

30

前記第１状態遷移手段が前記入球可能状態から前記入球不可状態に遷移してから、前記入球不可状態から前記入球可能状態に遷移するまでの期間であるインターバル期間の長さ以上の長さに設定し得るよう構成された

ことを特徴とする遊技機。

40

50